

## 【履修ガイドライン】

- ① 履修登録に当たっては、指導教員と相談の上、登録をしてください。

履修登録には指導教員の承認印が必要です。

※1「指導教員」に研究指導教員と研究指導補助教員がいる場合は両者の承認印を要する。

- ② 修士の学位を得るためには、以下の科目分類から30単位以上を修得してください。

科目	単位数	望ましい修得単位数	備考
特別演習Ⅰ～Ⅳ	各1単位	4単位(注1)	各研究室でのゼミ、輪読、勉強会などです
特別輪講Ⅰ～Ⅳ	各1単位	4単位(注1)	
特別実験Ⅰ・Ⅱ	各4単位	8単位(注1)	修士論文研究活動です
特論	各2単位	14単位以上(注2)	いわゆる講義科目です

(注1) 学則上では必修・選択の区別はありませんが、修士論文研究活動では実験を行い、ゼミや輪講に参加することが一般的です。したがって特別演習・特別輪講・特別実験は事実上の必修科目と解釈してください。

(注2) 前述のように、特別演習・特別輪講・特別実験を事実上の必修科目と解釈すると、その合計16単位を総計30単位から差し引いた残りの14単位(7科目)以上を特論(講義科目)から履修することになります。

(注3) 指導教員の許可を得て他専攻の授業科目を履修することができます。他専攻の授業科目は10単位を超えない範囲で博士前期課程の修了に必要な単位数として含むことができます。

一般に、大学院での講義科目(特論)は隔年で同じ科目が開講されています。すなわち年度を間違えると履修できない科目もありますので、今年度開講されている科目をよく確認して受講してください。

- ③ 特別演習・特別輪講・特別実験の番号付けは以下の表にしたがって付けてください。特別演習・特別輪講・特別実験の履修時期

4月入学生	M1		M2		
	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月	
特別演習	I	II	III	IV	
特別輪講	I	II	III	IV	
特別実験	I		II		

10月入学生		M1		M2	
		10月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～9月
特別演習		II	III	IV	I
特別輪講		II	III	IV	I
特別実験		I		II	

特別実験Ⅰ・Ⅱは修士論文の指導教員(※2 研究指導教員)を担当者としますが、特別演習・特別輪講は(修士論文指導教員の許可があれば)他の大学院教員(※3 研究指導補助教員を含む。)から受講することもできます。すなわち他の研究室のゼミに参加する形でも登録できます。

指導教員とよく相談の上、日常の研究活動に支障のないように履修計画を立ててください。

※4「特別実験Ⅰ・Ⅱ」は研究指導教員が単位認定(成績評価)を行う。

指導方法に応じては、研究指導教員と研究指導補助教員の連名による単位認定も可とする。

## 履修登録時期

前期に、後期履修分を含めて履修登録しますが、後期に追加、訂正が可能です。その登録時期は次のとおりです。なお、10月入学生の前期、後期の期間は、それぞれ4月入学生の後期、前期の期間に相当します。

4月入学生

前期： 4月3日 ～ 4月19日

後期： 10月2日 ～10月11日

10月入学生

前期： 10月の1ヶ月の間

後期： 4月の第1週

## 修了

**修士の学位を得るためには、次の要件を満たすことが必要です。**

- ① 本学大学院に2年以上（4年以内）在学したこと。  
ただし、優れた業績を上げたと研究科で認めるときは、1年以上の在学とする。
- ② 修了までに必要な学費及びその他の費用全額を納入したこと。
- ③ 修士論文の審査及び最終試験の合格のほか、以下の科目から30単位以上を修得すること。

修了時必要単位数モデル

	修了	
	科目数	単位数
特論	7科目	14単位
特別演習	4科目	4単位
特別輪講	4科目	4単位
特別実験	2科目	8単位
合計	17科目	30単位